

ワールドワイド携帯電話四半期動向

2016年8月12日報告

■ 2016年2Qの世界の携帯電話市場概況 ■

2016年2Qの端末販売状況

4-6月期の端末販売台数は前期比1%増、Smartphoneは2.3%増になった。期中にMicrosoftがフィーチャーフォン事業の売却を決定、売却先は旧Nokia関係で、買収側はNokiaブランドを復活させSmartphone分野に再参入、生産はFIH Mobileが担当する。弊社では上半期の販売動向を踏まえて2016年のフィーチャーフォンを含む販売台数は微減に下方修正した。

中国ではTVメーカLeEcoが2015年に端末事業に進出したが、6月にCoolpadの筆頭株主になり、同社を傘下に収めたことでSmartphone事業を一層拡大させる狙いがある。

2QはSamsungがフラグシップ投入の効果から端末部門の業績数値を改善させ、一方Appleは競合メーカの攻勢とiPhone 6S、6S Plusの販売低迷から収益性が悪化、両社で明暗を分けた。Microsoftは5月に赤字フィーチャーフォン事業部を売却し、Smartphone部門のみ存続させた。存続する同社のSmartphoneブランドLumiaは前期比半減の120万台に留まり、ほぼフェードアウトの方向に向かっている。

2QではHuaweiに続きOPPO、Vivoの中国新興メーカが躍進し、Smartphone販売台数ランキングではSamsung、Apple、Huaweiに次いで4位、5位の座を占めた。OPPO、Vivoともオープン市場、オフライン市場に販売の特色をもち、オペレータ経由、オンラインは補助的なものとみなしている。発売モデルもミッドエンド中心で、販売ターゲットを大都市部ではなく、中堅都市、農村部に置き、若者向けにマーケティング戦略を集中させている。

中国ではSmartphone需要が成熟し大半が買替需要のため、市場のニーズはエントリーモデルからミッドエンドにシフトしていること、中堅都市および農村部は大都市に比べ市場スペースが空いていることもOPPO、Vivoには追い風になった。

中国メーカの海外進出にはパテント問題が大きな壁になっていたが、OPPOとVivoが漸くQualcommとライセンス契約を締結し、ひとつの関門を突破した。

OPPO、Vivoを含め中国メーカはオフライン市場に注力し、Smartphoneの販売シェアを上げている。インド中心に中国メーカの海外展開は加速し、Samsung、Appleを除けば旧グローバルメーカの後退が目立つ四半期になった。

下記は参入各社の4-6月の新機種投入状況である。グローバルメーカがプロダクトラインを絞っているのに対し、中国メーカはフラグシップのファミリーモデルを続々投入している状況が読み取れる。

7-9月の出荷、販売見通し

7-9月期の端末販売台数は前期比3.5%の伸びを見込んだ。業績予想に慎重なAppleは3Qの売り上げ見通しを前期比7-12%の増加を見込んでおり、9月の次期フラグシップの予約発売を織り込んだものとみられる。

各社ミッドエンド以上の機種投入が予想され、高機能化から特定部品集中し、メーカーによっては一時的に部品調達のショートが発生する可能性がある。

7月にPantechはSKY IM-100を擁し韓国国内に再参入した。同社は2014年11月下旬のSK Telecom向けVega Pop-Up Noteの発売を最後にモデル投入を中断していた。

3Qの新モデルリリース予定況

グローバルメーカー

Apple	iPhone 7(6SE)	2016年9月
Blackberry	DTEK50(Android)	2016年8月
LG	V20(V11)	2016年9月
Samsung	Galaxy J2 (2016)	2016年7月
Samsung	Galaxy J2 Pro (2016)	2016年7月
Samsung	Galaxy On5 Pro	2016年7月
Samsung	Galaxy On7 Pro	2016年7月
Samsung	Galaxy Note7	2016年7月

中国メーカー

Huawei	Honor 8	2016年7月
Huawei	Honor Note 8	2016年8月
Lenovo	Vibe A	2016年7月
Lenovo	Vibe K5 Note	2016年8月
Lenovo	Moto E (3rd gen)	2016年8月
Lenovo	Moto Z	2016年9月
Meizu	M3E	2016年8月
OPPO	F1s	2016年8月
Xiaomi	Redmi 3x	2016年7月
Xiaomi	Mi Note 2	2016年7月
Xiaomi	Redmi 3s	2016年8月
Xiaomi	Redmi Pro	2016年8月
Vivo	X7	2016年7月
Vivo	X7 Plus	2016年7月

2016年2Q(4-6月)調査結果 目次

1	2016年2Q (2016年4-6月) の端末販売の概況	4	7.1.	Huawei	28
2	7-9月の出荷、販売見通し	7	7.2.	Xiaomi	29
3	2016年2Qの端末販売動向	8	7.3.	OPPO	31
4	2016年2Qのメーカーの動向	9	7.4.	Vivo	32
4.1.	グローバルメーカー / Samsung端末事業部の業績が改善	9	7.5.	Lenovo	32
4.2.	新興メーカー / Huawei、OPPO、Vivoが販売を加速	10	7.6.	LeEco	33
4.3.	中国はOPPO、Vivoがランキング上位、インドは中国メーカーがシェアを拡大	12	7.7.	その他中国メーカー TCL、ZTE、Meizu	34
5	端末販売台数推移(データ編)	13	7.8.	Mediatekは四半期過去最高の売上を記録	35
5.1.	四半期別全端末の販売台数推移	13	8	端末各社の出荷計画	36
5.2.	全端末の年間販売台数推移	14	9	2016年2Qのセルラー加入状況	37
5.3.	四半期別Smart Phoneの販売台数推移	15	10	地域別累積加入推移(四半期別)	37
5.4.	Smart Phoneの年間販売台数推移	16	11	方式別加入推移(四半期別)	40
5.5.	四半期別フィーチャーフォンの販売台数推移	17	12	年間加入推移	43
5.6.	フィーチャーフォンの年間販売台数推移	18	12.1.	地域別	43
6	グローバルメーカーの2016年2Q動向	19	12.2.	方式別	44
6.1.	Samsung	19	13	主要オペレータ加入者推移	45
6.2.	Apple	21	13.1.	アジア	45
6.3.	Microsoft	22	13.2.	西欧	46
6.4.	LG	24	13.3.	東欧	47
6.5.	ソニーモバイル	25	13.4.	北米	48
6.6.	HTC	26	13.5.	中南米	49
6.7.	Blackberry	27	13.6.	中東/アフリカ(アフリカ)	50
7	中国メーカーの2016年2Q動向	28	13.7.	主要オペレータ加入者数推移の世界全体に占める推定比率	51